

指揮者 佐々木克仁

Katsuhito
Sasaki



宮城県石巻市出身。

国立音楽大学教育音楽科第1類卒業。

大学在学中よりオペラの魅力に取り憑かれ、文化庁オペラ公演など全国各地で指揮。オペラ公演など全国各地で指揮。オペラ公演回数の多い指揮者として「日本オペラ年鑑」に上位掲載される。

故郷の宮城県では、国民体育大会『新世紀・みやぎ国体』開催式の音楽隊指揮。また、東日本大震災から1年の2012年3月には石巻市民（石巻市民交響楽団・石巻合唱連盟等）と共にフォーレの「レクイエム」を演奏し、被災者に捧げる。その様子は、メディアにて全国的に紹介される。

TOKYO2020 Olympics では聖火リレー式典の指揮者、および TOKYO2020 Olympics・Paralympics Cast を務める。

フィリピンにて、Manila Symphony Orchestra と共演。また、皇族の御前で演奏経験もある。指揮者以外にも、訳詞・作詞、コンサート等の企画・構成・演出、また楽曲編曲なども行う。また音楽家としての活動だけにとどまらず、文部科学省の東日本大震災復興コーディネートも務め、故郷の復興に力を注ぐ。

オペラを山田純彦、指揮を崎田俊治氏、Vladimir Ashkenazy 氏、Jun Märkl 氏、NHK 交響楽団、新日本フィルハーモニーのもとで研鑽。

練馬区演奏家協会会員。日本演奏家連盟会員。文化庁派遣協力芸術家。NPO 法人 M & P 理事長。Mahler Wezen Philharmonic Tokyo 発足提唱者、および常任指揮者。

マラーウエズン フィルハーモニック東京 Mahler Wezen Philharmonic Tokyo



『マラーウエズンフィルハーモニック東京』は、マラーの交響曲全曲にチャレンジするアマチュアオーケストラです。

マラーの交響曲、歌曲の他、マラーによる編曲や関連する作品を取り上げていきます。

第10回「和光3・11を忘れない」ファイナルコンサートで、2021年5月にマラー交響曲第2番「復活」を演奏する予定でしたが、コロナ禍の影響で残念ながら中止になってしまい、3月14日に「マラー・葬礼」、「ドヴォルザーク・新世界」というプログラムで演奏会を開催しました。しかし、これで終わりたくないと言う声が多かったため2023年の3月にこのメンバーの有志で交響曲第6番「悲劇的」をやろうと言う運びとなりました

とはいえ、再来年では間延びしてしまうとの意見も多く、有志でウェブ会議を開いてその結果2022年4月30日に記念すべき第1回演奏会を開催いたしました。

▼新型コロナウイルス感染症対策に関わるお願い▼

- 安全な演奏会を実施するため、来場時にはマスクの着用をお願いしております。あらかじめご理解くださいますよう、お願いいたします。
- ご入場時、マスクの着用、手指消毒、検温などのご協力をお願いいたします。
- お花やプレゼントなどの受付は受け付けることができません。あらかじめご理解いただきますようお願い申し上げます。

※恐れ入りますが、未就学児の入場はご遠慮ください。

▼お問い合わせ▼

マラーウエズンフィルハーモニック東京 事務局
TEL / 080-7619-6752 (山本)
メール / mahler.liebendes.orchester@gmail.com

※時間帯により対応できない場合がございます。

所沢市民文化センター ミューズ アークホール



最寄り駅：西武新宿線「航空公園駅」東口より 徒歩：約10分

<バス>約3分「文化センターミューズ」下車すぐ

1番乗場「新所沢駅東口」「並木通り団地」行き

2番乗場「エステシティ所沢」「所沢駅東口」行き